

■ 医師と訪問看護師の連携に関するその他の課題

ケアマネジャーが調整

(ケアマネの力量により、医療依存度高い症例の施設誘導で中止)

勉強会、フォーラム、研究会、講演会(講師)などで名刺交換

HPからの情報

メディア(雑誌、TV、新聞)で紹介 過剰な期待(負の側面)

病診連携室からの紹介 (訪問看護ステーションから病院への情報提供貴重)

稀に行政からの紹介(機能する地域包括支援センターもある)

家族が直接、訪問看護ステーションへ相談

21世紀の医療 さまざまなパラダイムシフト

- 疾病から障害へ 治すから支えるへ キュア(cure)からケア(care)へ
- 医療から生活へ (薬から食事へ)
- 長寿から天寿へ (いのちの量から質へ)
- 急性期医療から終末期医療へ(死は医学の敗北でない)
- 病院から地域へ (病院医療から在宅医療へ)
- 自宅から共生型住まいへ (厚生労働省から国土交通省へ)
- 専門医から総合医へ (臓器から人間へ)
- 専門職から多職種協働へ(医師から看護師へ)
- EBMからNBMへ

施設看護から在宅看護へ 訪問看護へ光を！